

令和7年12月16日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

産業建設常任委員会委員長 内山美穂子

産業建設常任委員会報告書

令和7年9月12日に承認されました委員派遣について、次のとおり会議規則第77条の規定により報告する。

記

1 道内先進地視察について

(1) 視察期日

令和7年10月27日～28日（2日間）

(2) 出席委員

内山美穂子、畠山美和、野原恵子（以上3名）

(3) 欠席委員

小島智恵、谷口和弥（以上2名）

(4) 視察地及び視察項目

① 新得町「新得駅前地域交流センターとくとくの施設概要について」

② 日 時

令和7年10月27日（月）午前9時45分～午前10時45分

③ 場 所

新得駅前地域交流センターとくとく

④ 対応者

新得町議会副議長 青柳 茂行 氏

新得町議会産業文教常任委員長 福原 智幸 氏

新得町産業課長 桂田 聰 氏

新得町産業課商工労働係長 清野 能伸 氏

新得町議会事務局事務局長 佐々木隼人 氏

新得町議会事務局総務係長 荒 奏美 氏

⑤ 目 的

令和7年6月15日運用開始。新得駅前をはじめとした中心市街地の活性化の中核を担い、町民や来訪者の交流空間を創出すると共に情報発信機能の強化により町内や十勝管内への周遊へとつなげていく施設を視察し、今後の調査・研究につなげることを目的とする。

⑥ 内 容

新得駅前地域交流センターとくとくの施設の概要や運営方法、特

徵について説明を受け、質疑応答を行い、最後に施設見学を行った。

② 所 感

新得駅前地域交流センター「とくとく」は、構造材に新得産（町有林）を使用した木造建築物で、木を表した構造やルーパー天井など温かみのある落ち着いた空間や賑わいのある空間など、機能に応じて特色ある空間構成となっています。

1階の休憩交流スペースは、キッズスペースで遊ぶ子どもを見守る、授乳室や大人と別のスペースに子どものトイレの設置、バスやＪＲの待ち時間を過ごす、Wi-Fiに接続して仕事をするなど、自由に使えるスペースです。また、図書館の蔵書の一部を設置しています。

カフェ＆ショップは新得町を中心とした十勝管内の特産品、農産品などのほか一般食品やアウトドア用品、ベトナムの方も居住しているのでベトナムの商品など多彩な商品を販売しています。

2階は小学生低学年までの子どもを対象に、年間を通じて遊ぶことの出来るキッズスペースです。ネット遊具により1階と2階を行き来でき、2階にはプロジェクションマッピングを設置し、子どもたちが楽しめる空間となっています。

また、鉄道と共に発展してきた新得町の歴史を残すとして蒸気機関車時代の駅周辺を再現したジオラマや貴重な映像料も展示しています。多目的室は会議やサークル活動、通学生の待ち時間での学習や交流、災害時は鉄道利用者等の一時避難場所として利用可能なスペースとなっています。

設置者は新得町、運営は指定管理者（商工会が主体の新得町タウンマネージメント株式会社）です。乳児から高齢者、外国人にも配慮した総合的な施設の在り方として学ぶことが出来ました。

② 深川市「廃校を利用した、水耕栽培の取組について」

⑦ 日 時

令和7年10月27日（月）午後2時～午後4時15分

① 場 所

株式会社H P R S

④ 対応者

株式会社H P R S 代表取締役

C E O & C T O C F O 佐藤 弘幸 氏

株式会社H P R S 深川本社工場長 菅原 清 氏

株式会社H P R S 福井 瑛介 氏

② 目 的

自社が展開する地域資源を活用した事業や農業・再生可能エネルギー等の分野における先進的な取組について、現地で視察し、地域課題に向けたヒントを得ることを目的に研修する。

③ 内 容

施設見学として教室内の水耕栽培やアクアポニックス（陸上養殖）、屋外の果樹ソーラーシャアリング等の説明を受けた後に、廃校跡地の取得から各種事業の取組及び企業として今後の展望について説明を受けた。

④ 所 感

株式会社H P R Sは深川市立多度志中学校が廃校になり、跡地を工業として再利用しています。体育館は、栽培システムを製造するための工場機材制作の作業場所として活用されています。この活用方法は広いスペースを活用できるため、大型設備の設置や作業が効率的に行える利点があります。一方で、栽培には教室が活用されています。教室は区画が仕切られているため運用管理がしやすく、天井が低いため暖気がこもりやすく冬季の暖房コストを抑えられるなど、栽培環境としての利点が多い場所です。

エネルギーは循環型エネルギーの活用を創業当時から模索し、太陽光や風力、バイオマスなど再生可能なエネルギーを源として積極的に活用し、持続可能な未来への貢献を目指すとしています。電力は電力会社の送電網に接続せず太陽光自家発電を活用しています。

完全封鎖型の工場では、LED照明や化学肥料を利用したレタスやハーブなどの野菜の水耕栽培を実施し、袋詰めは地元の就労支援施設で行い、学校給食や深川市内のホテル、飲食店やスーパーなどで採用されています。水耕栽培で出る野菜の切れ端をティラピアやコイなどに与え、ふんを野菜の養分にする「アクアポニックス」の導入によって、エネルギーとともに化学肥料の削減にもつなげていました。

自家発電、水耕栽培、水産養殖と、それぞれの要素で稼働している植物工場であり、大変参考になりました。

③ 名寄市「地域通貨の取組について」

① 日 時

令和7年10月28日（火）午前9時30分～午前11時00分

② 場 所

名寄市役所

④ 対応者

名寄市議会副議長 倉澤 宏 氏

名寄市経済部産業振興室産業振興課長 池田 俊一 氏

名寄市経済部産業振興室産業振興課主査 木下 智裕 氏

名寄市最高情報統括責任者（C I O）補佐官

守岡ダニエル武雄 氏

名寄市議会事務局次長 石橋 恵美 氏

⑤ 目 的

名寄市が導入・運用している地域通貨の仕組みや、その活用による地域活性化による地域経済の活性化、住民のつながり強化、商業振興などの効果について視察し、地域通貨を通じた新たな価値創出や持続可能な地域づくりの実践事例を把握し、自地域で応用のあり方を検討するための参考とする。

⑥ 内 容

名寄市が導入している地域通貨「Y o r o c a」について、導入の経緯、取組内容及び今後についての説明を受けました。

⑦ 所 感

名寄市の「Y o r o c a」は、地域通貨を単なる決済手段ではなく、「地域住民の行動変容を促す仕組み」として活用している点が印象的であった。特に、行政ポイント制度を導入し、ボランティアや健康事業参加など“地域に貢献する行動”を経済的価値に結びついていることは、住民のまちづくりへの参画意欲を高め、行政と市民の協働を促進する効果を上げています。

また、両市町ともに共通して、システム運営や加盟店支援など継続的な管理体制の確保が課題と思われるが、名寄市では商工会議所・行政・事業者が明確な役割分担を行い、持続的な運用を実現している点は大変参考になりました。

地域通貨は単なるキャッシュレス化の推進にとどまらず、「地域経済の自立」と「住民のつながりの再構築」を同時に実現できる有効な手段であることを実感した。

④ 下川町「S D G s パートナーシップセンター事業について」

⑧ 日 時

令和7年10月28日（火）午後0時55分～午後2時30分

⑨ 場 所

下川町役場

④ 対応者

下川町議会議長 我孫子洋昌 氏

下川町議会事務局事務局長 神野みゆき 氏

下川町議会事務局事務係長 伊林 賢二 氏

下川町総務企画課参事兼 S D G s 推進戦略室長 篠島 豪 氏

一般財団法人しもかわ地域振興機構事務局長 宮戸 悠二 氏

一般財団法人しもかわ地域振興機構 和田健太郎 氏

⑤ 目 的

持続可能な地域づくりの先進事例である下川町の「下川版 S D G s 地域創造事業」を視察し、地域資源を生かした循環型社会の構築方法、官民連携の仕組み、住民参加型のまちづくり及び若年雇用創出の取組について学び、自地域で応用の可能性を探ることを目的とする。

⑥ 内 容

「S D G s パートナーシップセンター事業」について、取組について説明を受け、質疑応答を行った。

⑦ 所 感

しもかわ地域振興機構は、行政の補完的な役割を担う中間支援組織として設立され、町内の企業、N P O、地域住民と協働しながら、地域資源の利活用や人材育成、移住・定住支援など幅広い分野で活動している。特に印象的であったのは、単なる事業受託型ではなく、自らが地域の課題を発掘し、解決に向けたプロジェクトを企画・推進する「実践型の地域経営組織」として機能している事や、地域内外の人材を受け入れ、チャレンジできる環境を整えることで、若者の定住や起業につながっていることも注目すべき点であった。

今回の視察を通じ、しもかわ地域振興機構は、行政に依存しそぎることなく、地域の多様な主体が自立・連携して動くための“しくみ”を提供していることを実感した。

幕別町においても、地域内での人材ネットワークの構築や、課題解決型の地域運営を進めるうえで、同機構の取組は大変参考になりました。

令和7年10月27日（月）新得駅前地域交流センターとくとく



(青柳副議長挨拶)



(鉄道遺産展示室「ポッポ」)



(休憩交流スペース)



(キッズスペース)

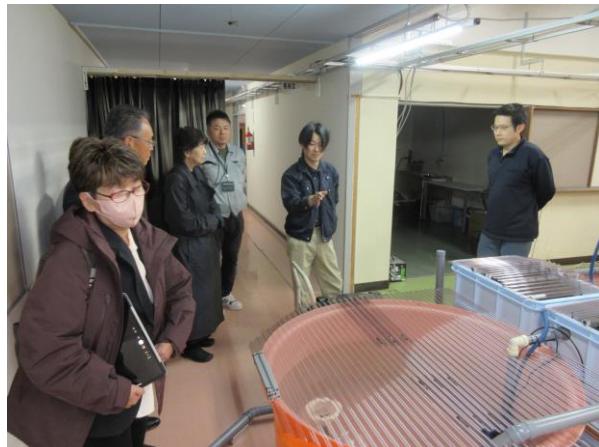


(図書スペース)



(授乳室にある調乳専用浄水給湯器)

令和7年10月27日（月） 株式会社H P R S（深川市）



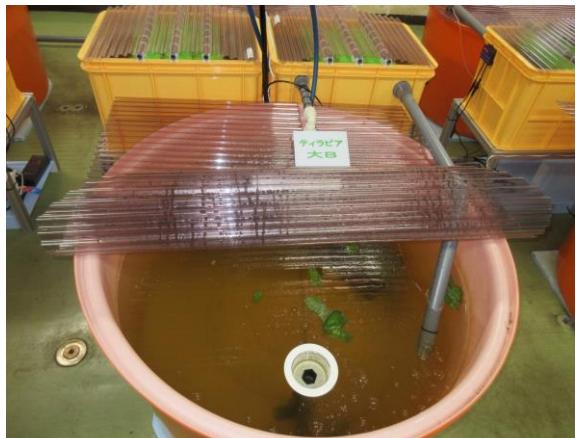
(アクアポニックス～概要説明)



(アクアポニックス①)



(アクアポニックス②)



(アクアポニックス③)



(元教室の栽培ユニット～概要説明)



(栽培ユニット)

令和7年10月27日（月） 株式会社H P R S（深川市）



(溶液室)



(廊下)



(廃材保管室)



(廃材を利用した暖房設備)



(電気室)



(果樹ソーラーシャアリング)

令和7年10月28日（火）名寄市役所



(概要説明)



(Y o r o c a 店頭表示QR)



(デマンドバス連携の概要説明)



令和7年10月28日（火）下川町役場



(記念撮影)



(我孫子議長挨拶)